

「Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～」

● PFW トップページ ● NPI トップページ

Title: 「ME YA THE WORLD」



宮澤 笑美
1984年8月27日生まれ☆沢山腹で沢山食べます！A型だけど片付けとかは上手くできないです。ハウスタブレットアレルギーだけ埃とかよく見えないです。

● 最近のエントリー

- ☞ PHOTO EXHIBITION IN NEPAL (2006.06.28)
- ☞ あたし！Nさんとめ賢堂 (2006.06.22)
- ☞ NP！クエストいんチェンナイ (2006.06.22)
- ☞ コルカタ？ (2006.06.08)

● アーカイブ

- ☞ April 2009
- ☞ November 2008
- ☞ May 2007
- ☞ March 2007
- ☞ December 2006
- ☞ November 2006
- ☞ September 2006
- ☞ August 2006
- ☞ July 2006
- ☞ June 2006
- ☞ May 2006
- ☞ April 2006
- ☞ March 2006

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

ME YA THE WORLD > June 2006 アーカイブ

06.06.28

PHOTO EXHIBITION IN NEPAL

[Tweet](#)[Check](#)

We are in Nepal now! I am one of the group of the Photograph Exhibition in Nepal!
so, We are preparing for that. We are decided to hold the Exhibition in Nagrkot.
Do you know that place? It is mountain!!
It takes 3hours to get there by Local bus.
oops, Net cafe Im using is closing so, anyways!
We are staying at Ngarkot and taking pictures for the Exhibition,
hoping we will have goodtime in there!!
We will give you more information later!!

byebye!

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.06.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

ME YA THE WORLD > June 2006 アーカイブ

06.06.22

あたし | Nさんとめ聖堂

[Tweet](#)

[Check](#)

翌日は、一人で教会へ向かった。
シスターノラのオフィスの一室を借りて瞑想することに決めた。
インドで瞑想。笑えない？

いや、本気。
本気だったのよ。

私のお部屋は角部屋でした。
窓の向こうはビーチ。
波の音が聞こえる。
子供たちの笑い声も聞こえる。
何をするわけでもなく、何かをしようとしたわけでもなく、
お言葉に甘えて部屋を借りてぼーっとした。



瞑想なぞ、こんなハナタレが出来るわけもなく。
出来たことといえばパウロ・コエーリョの本を一冊読み上げたことぐらい。
それと、お言葉に甘えて部屋を借りてぼーっとした。

そして、さし、ThomasのTombに高野くめた。

夕飯もご馳走になった。
シスターノラが呼びに来て
二人でご飯をいただいた。
シスターノラはよく
「ALL FOR YOU」
と言う。
相変わらずその精神を見習いたいと思う。

二人だけの食事はとても静かで、だけど時々話して、
シスターノラが時々私に質問する。
私がいっしょけんめい答える。
そしてまた、静かになる。
片付けをしたいと言っても
笑顔で手だけ振る。
私はさんきゅーと言う。
私は何しに来たんだと思うけれど
シスターノラはそんなことは関係ないのだろうと思うと
私もそんなことを考えることもないんじゃないかって思う。
もし、これが嫌々ながら、居座るなら意味がなければいけないと思うけれど、
シスターノラの受け入れてくれる大きさに私はするすると入って行って
何が目的かわからなくても、そうしてくれるなら目的とかは
あとから付いてくるものだろうとずうずうしい考えで居続けた。
ただ、何も感じず、何も思わず、何も得にならないと思うことだけが無駄なことだと思う。

そして、その翌日が日曜日
朝、シスターたちに折り紙を教えた。
相変わらず折り紙は古き良き日本人のコミュニケーションアイテムだ。
鏡を折っておくとシスターノラが
「Make some new one!!!」と叫んだ。
あはは！と私は笑った。
そうか、そうか、そりゃそうだ。そりゃあ見飽きる。
だけど、一番、外人さんが喜ぶのも事実。
だけど私はかたつむりを作った。
この難度高し物はなんと、アメリカに居た時に覚えた。
ホストマザーは小学校の先生の非常勤をやっている
私も折り紙を教えに教室を訪ねたことがある。
そのとき、マザーが「折り紙で昆虫は作れないか。」と言った。
私は折り紙なぞ、そんな詳しくなかったのでインターネットで
調べまくった結果。
「かたつむり」
という意表をつくムシにたどりついた。一応、マザーにも
「スネイルはインセクトか。」
と聞いたが、勿論違ったけど、まあいいよ。ってことになった。
私が、このアイテムを獲得するまで凄く時間がかかったけれど、
アメリカンキッズには有効かと思ったらやっぱりだめだったという思い出と共に
私は今でも自慢げにかたつむりを折り続けている。
というわけで、シスターズにもかたつむりを折ると、
教えて！といわれた。
だけどやっぱり、難しかったみたい。
やはり、何事も基礎なんだなあと思った。(えらそう

シスターノラについていき、五十嵐先生とともに、ミサに参加した。





ミサでは、アメリカのホストマザーを思い出した。

私のホストマザーは熱心に教会に通っていた。
私も、そうした。いつも、ホストマザーと一緒にだったし、教会のみんなが好きだったから。
毎週水曜日にはC H O I R・コーラスに入れてもらい、練習をして、日曜日に前で歌った。
私もホストマザーと同じ、ソプラノを歌っていた。
私が歌う場所は決まっている。開始の鐘の合図と共に、列の一番最初に出て一番はじっこに座る。ホストマザーは私の隣。
ホストマザーは楽譜が読めない。だから水曜日の練習がとっても大事。
音符は読めないけれど、声だけは誰よりも大きくて音が時にははずれるけれど、そんなことも気にせず（気にしてたけど）大きな声はとめない。
シスターノラもそうだった。
私の隣に居たシスターノラは今まで神父さんのお説教？を聞いてるか聞いていないかもわからないほどの無表情でどっか見てたのに（私にはそういう人のそういう雰囲気は凄くおもしろい）歌が始まるとすくっとたたくみ
大きな声で音程が微妙ながらも大声で歌い始めた！！（笑）
私は内かくすすずしてしまった。その歌声が本当にアメリカのホストマザーみたいだったからだ。
それはミサが終わるまで変わらず続いた。

その後、また、五十嵐先生とお茶をご馳走になってしまった。

シスターノラとシスターズに沢山お礼を告げ、
悔い残らずサン・トメ聖堂をあとにした。

その後五十嵐先生とあきちゃんをご飯を食べたのであった。



カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[ME YA THE WORLD](#) > June 2006 [アーカイブ](#)

NP | クエストいんチェンナイ

[Tweet](#)

[Check](#)





てなわけです。インド後半は体調不良に悩まされネットカフェにいけない始末(涙)

なので、今日こそ、チェンナイからの経過をご報告。写真付で(←ここ重要)
前回の更新にも書いたとおり、チェンナイでは Sister、ノラの教会にお邪魔しました。

*ここからはNPIクエストでお楽しみください。

エピソード

宮澤はお昼ごろ起きた。

「水と、食料買わなきゃな〜」

食料を買いに

→行く

行かない

+宮澤は食料を買いに街へ出た。+

ちゃっちゃりりん

+佐藤・大谷に出会う+

戦う

話す

→逃げる

+うまく逃げる事ができた。+

「ここがスーパーかー。」

スーパーに

→入る

入らない

ちゃっちゃりりん

+りんご5つと水・コークを手に入れた。+

スーパーから

→出る

出ない

+スーパーを出た+

ちゃりりん

+徳田・早川と出会う。+

戦う

→話す

逃げる

M:「何してるん。」

T:「これから五十嵐先生の知り合いのシスターの教会訪ねるけど。行く?」

H:「行く?」

→行く

行かない

アイテム:りんご・水・コーク

+行くことにした。+

てくてくてく

っちゃちゃらん

+向こう岸から五十嵐先生と前田さんが向かってきた+

戦う

→話す

逃げる

M:「おお!居た!私も一緒に行っていいですか?」

I:「おお。行くー?」

ちゃりりん

+仲間が増えた+

メンバー

五十嵐先生

前田さん

徳田君

早川さん

宮澤さん

ちゃっちゃららららららら〜

+紺野・谷本ペアがやってきた!+

戦う

話す

逃げる

→コークを投げて逃げる

+サウスティ紺野・谷本にコークを投げて逃げ切った+

てくてくてく

ちゃっちゃらん

+五十嵐先生の必殺・値切んなぎや乗らねえよ攻撃で安くオートリキシャーを手に入れた。+

5人というぎゅうぎゅうオートリキシャーに

→乗る

乗らない

+ダメージ10を受ける。+

ちゃっちゃちゃらんちゃっちゃらん

+オートリキシャーが深った!+

降りる
降りない
→シスターノラに電話する。
+五十嵐先生がシスターノラに電話をした。」
.....

もう疲れたのでやめてもいいですか？・・・

本当はドラクエをやったことない私ですが、こういうことがよくあるので私たちはこれを（仲間が増えて一列になって歩く事）をNPIゲームと呼んでます。（少なくとも私は）そして、シスターノラの教会に着いたのです。そこは真っ白く、空まで伸びてそうな建物でした。

五十嵐先生はとてうれしそうにシスターノラと再会を済まし、私たちは、不思議なシスターの雰囲気になんとかふわふわしていました。そして、シスターノラが教会を案内してくれたのです。サン・トメ教会と呼ばれるそこには、十二使徒の一人、St. Thomasが眠っているとされている教会だそうです。世界にはあと、スペインとローマに確か、St.PaulとSt.Peterが眠っている教会があるそうです。世界に3つうちのひとつがここは！！！
なんとということか。
来て良かった。

教会の中はステンドグラスに日が差し込み床に色とりどりの影が映し出されてとても綺麗。カトリック教会特有の、沢山のキリストの絵とモニュメント。慣れていない私たちは、どうふるまっていかわからないけれど、ただ、ひたすら見てまわった。
そして、St. Thomasが眠っているという地下にも連れていってもらって、そのTombを見る。

信者の思いの祈りをささげている中、私たちは圧倒され立ちすくむ。
なんともいえない雰囲気だけど、嫌ではない。
私たちも、座って目を閉じたい気分だった。
私は、計算をした、
「私は果たして、日曜までチェンナイに居るだろうか。居るならば、日曜にまた来たい！」
思い立った瞬間スケジュール帳をチェック！
BINGO！

月曜日に出発予定◎
すかさずシスターノラに申し出る「Can I come back again on Sunday?」
シスターノラはもちろん、うなずいてくれた。
その次に、すぐ前にあるビーチにも行った。
そこにはスラムが沢山あったそうだが、津波により破壊されてしまったそうだ。だから、今は、数えるくらいの家だけしかなかった。

子供たちが寄ってきた。
「ハロー。ハロー。」
カンボジアを思い出す。
私たちは笑い返し、挨拶しか出来ないけれど。
五十嵐先生と二人の子供が話し始めた。
「ほわっちゅあねーむ？」
子供が聞く。

「アム・タイジー」
先生が答える。
色々話していた。
先生がぼっけの中を何か探していた。
「なんか食べ物ないかなー。」
あ！ここにりんごが！
私を買ってそのまま帰ろうとしていたりんご5つがあった。
「これをあげよう。」
りんごを渡す。そうすると、後ろから他の子も来た！
「あー。じゃあもうこれ全部かな！」
5つ全てをあげはなった。

みんなで
「あたしがりんごを買って、重くなりながら来たのはこういうことね。」
と言い合った。
一通りまわった後、シスターノラのオフィスへお邪魔してお茶をいただいた。



ゆっくりとした空気が流れ、他のシスター達の実顔に囲まれいつまでも居てしまいたいようになってしまった。
惜しみなく、なんでも出してくれる。
私たちは遠慮なく、よく食べた。

その後、私たちをチェンナイの有名観光地に連れていってくれた。
シスターノラ率いるシスターズ。そして私たち。大きなモニュメントがあるビーチを歩いた。
シスター達何か色々話していた。五十嵐先生が言うには花壇に咲いている緑藻について話していた。

るそうで
緑は緑でも色んな緑があって美しいと話していたそうだ。
シスター達は、緑のすばらしさに感動しているのかもしれないけれど
私は、そんなシスター達、それを発見すること、そして、それをわかちあえること、感動できる
ことに
感動した。
「あいやー！レベルが違うで。」
そうつぶやくだけだ・・・。

すっかり夜も遅く。
すみちゃんも病み上がりということで、シスター達にはお礼を行って別れた。
私は翌日また、教会に行くことにして別れた。

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#)

ME YA THE WORLD > June 2006 アーカイブ

06.06.08

コルカタ？

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちわ。宮澤です。
ご無沙汰しております。

長坂先生から嬉しいメール。
ME YA THE WORLD アクセスランキングナンバーワン
という輝かしいお知らせをいただいて喜んでいたものの、なかなか更新もできず。
こんなブログでも沢山の方々にご覧になっていただいているのかと思う。。
嬉しいですよ◎本当に。
ありがとうございます。これからよろしくお願いします！！きっとこの旅で出会った
素敵な方々にアクセスしてもらっているのではと勝手にわくわくしております。
そして、日本で読んでくださっている方々も勿論、素敵な人たちで。
そんな人たちに見られているなんて・・・！！緊張しますが、相変わらずの
このブログをよろしくお願いします (二回目)

てなわけで。わたくしはただいま、コルカタ インド。
今日は申し訳ございません。写真をアップできないのですが・・・。
マレーシアのアトリエを午前5時。片づけもちゃんとできないままに
ばたばたと急いで出て行きました。ウォンさん、
本当にごめんなさい・・・。そして、ありがとうございました！！！！
あの、マレーシアのスクーリングの日々はウォンさんが居なければ確実に
不安なものでした。本当にお世話になりました。改めて、
ありがとうございました！是非、また、日本、・・・もしや。マレーシア！
でお会いしましょうねー！！
そして脳年齢を鍛えておきます。いらはいらはい。
そう、そして、インド、チェンナイには飛行機でぶらーん。
いよいよ、インドの地を踏んでしまいました。
写真と一緒にチェンナイ、そして今居るコルカタについて書きたいと思っています。
スクーリングの際、みんながインドの再プランニングをやっている中、
私は歩き方 (地球の歩き方) をペラペラめくっている
「マザーズハウス」
という文字が。
コルカタにマザーテレサのお墓があり、かつて、マザーが働いていた場所があるという。
おるるーい！私！
そんな盲点を！
そして、ここではボランティアができるということ。
私は、小さな時から、マザーテレサには何か、思うところがあって、
気にしていた存在でした。小学生の時に伝記を読み、
まあ、それぐらいは誰にだってあることなんだけど、
とにかく、気になる存在で、そのうち、「私と同じ誕生日の有名人は」
みたいなのを見てみれば・・・そこにはマザーテレサが！！
そんな些細なことなのですが、とにかく、私には、(勿論、大勢の人々がそうだろうけども、私
も同様) 凄く特別な存在でした。
その、マザーと近くなれる機会があるとも思わず、
私はすっかり学校指定泊の予定。
変更可能だったものの、マザーズハウスの存在を知ったのはその締め切りの後。
「・・・でも、きっと、他の場所も見なければいけないんだな」
と思い、大人しく予定通りを廻ることに。
あわよくば、インド滞在日数全部をコルカタにしてマザーズハウスに通いつめることまで
考えたのですが、これも何かのアレですね。

そういうことでチェンナイで一人ぶらぶらスーパーに行けば
相変わらずの偶然で出会った徳田君と早川さん。
二人は今から五十嵐先生のお知り合いのシスターを訪ね、教会に行くとのこと。
私は、お水とリンゴを買って入りましたが、
「あー。行ってみようかな。」
と軽く申し出。
ちょっとすれば先生と前田さんが！
オートリキシャ (私にはトゥクトゥクと何が違うのかわからないけれど名前だけ違うのかし
ら？) に乗って (本当は三人乗りを頑張って5人乗りしました◎)
向かった教会。
私はそこに魅せられてシスターに日曜日に来てほしいかと聞いてみれば、
勿論、快諾してくれた。
それどころか、一日お部屋を貸してくれるとまで言ってくれた。
やっぱり、こうやって、行く場所があるから、
ああやって、行く場所は決まってくるのだなと勝手に解釈して
チェンナイを味わった。

そして、次の都市。ここ、コルカタ。
コルカタ・・・こここそ、五十嵐先生がおっしゃっていた通りの
インドの中のインド。
写真は凄いなと思う限り。
どんなところ？
と聞かれれば

「インドの写真をなんでもいから想像して。そう、それと一緒。」
それでいいと思う。
到着翌日が一番凄かった。
雨が降っている中、私は様子を見ようと外に出たものの、
なんだ、ここは、・・・インドだ。
あふれ出る水道管？で人々は体、顔を洗っていたり、
ぎゅうぎゅうの人が詰め込まれた窓の無いバスが走り回り、
黄色いタクシーが交差する。
露店でただ座っている人、路上で寝ている人、子ども、犬が歩き回り
路上の家から家庭が見える。人力車や、電車は風景の一部で
行く所すべてがおしっこ臭い。
それもそうだ、公衆トイレは男の人専用。それどころか、トイレでしている人の方が少ない。
私は何を思ったからビーサンで歩き回った。
もう、何が足にまわりついているかわからない状態。
だけど、ひたすら何か無いかと隙を許さず突き進んだ。
だけど、私の負けだった。
途方に暮れた私はホテル周辺を歩き回っただけで帰ってきた。
あれから雨の日にはまだあっていないけれど、次は写真を撮ろう。
昨日は、いよいよマザーズハウスでボランティア登録。
行く所は
感染者の施設と、孤児や障害児の施設でのお手伝い。
オリエンテーションが終わってマザーのお幕をたずねた。
この先、少しこわい。それはそうだ。だけど、ここまで来た。
マザーテレサの所まで来たのだから。
大丈夫。

オリエンテーションでマザーの言葉を聞いた。
「あなたたちは特別な人です。こうやって、コルカタに来て手伝いたいと思う人は世界中に沢山居る。だけど、それが出来る人はここに來れた人たち、あなたたちだけなのです。」と。それは捕らえ方によっては違うことを思う人が居るかもしれないけれど、全くそのとおりだと思う。
私は特別だ。
こんなにも、アジアの国を廻って、たくさん暮らしを見て、人に触れて、まだ続けることが出来る。そして、何か出来る事が出来る。
それはどれだけ、凄いいことなのか、特別なことなのか。
だけど、それは自分の考え次第。
だけど、私は、この思いをしっかり持っていたい。
「自分の国で、町で、コルカタを探してください。」
ともおっしゃっていたそう。
貧しさは物質的なものよりも、心の貧しさの方が深刻。
だから、東京やニューヨークにも支部があるという。
私は最初、そんな都市に、なんで、と思ったけれど、やっぱり、浅はかだったなあって思った。
そのとおりだ。私が、考えていた先の答えがそれだったのかなと思った。
ごちゃごちゃ書いてしまったけれど。
マザーの言葉を他にも沢山聞いた。
いつか、書く日が来るのかな。
長く書きすぎた。。

とにかく。私は今、コルカタに居る。

ボランティアは明日と明後日出発日の午前中だけになってしまうけれど、見ないより、見た方がいい。
私はそう思ってる。
では、また、今度は写真付きで！

カテゴリ：

post by 宮澤 実美 | 日時: 2006.06.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#)